

日に日に秋が深まってまいりましたが、先生方いかがお過ごしでしょうか。 きっと様々な現場で活躍のことと思います。

今年の7月、2年間学ばせていただいた家庭教育支援コースを無事に卒業することができました。水野先生はじめ、担当の山下先生及び他の先生方、スタッフの方々に心からお礼を申し上げます。

娘は今朝も目覚まし時計で起き、大好きなテレビ番組を見て朝ご飯を食べて、姉と登校して行きました。

娘「行ってます」 私「行ってらっしゃい」

何でもない。このセリ取りが、幸せを感じる今日この頃です。

ペアレンツキャンプとの出会いは2年前、娘が小学1年生の時です。

小学校に入学してから何の問題もなく(ないように見えていた)

登校していた娘が5月末の運動会の振替休日明けから様子がおかしくなりました。登校直前に「お腹が痛い」と言い出し

微熱があったので、運動会の疲れが残っているのかもと思、その日は休ませました。朝は苦しみながらもそれまでは姉と友人と一緒に楽しみに学校へ通っていたのです。翌日、姉たちと登校できませんでした。以降、私が途中で送ったり、教室まで送ったり(母子登校)となりました。

教室まで送っても自分の席に着けず、教室の後ろで私のそばから離れない、手を見ても私が帰ってしまうと授業中もずっと泣き続けていたそうです。やがて教室にいられなくなり、保健室へと登校するようになりました。気分が落ち着き、やる気が出ると教室に行き、クラスで過ごすこともありました。母子登校・保健室登校は続きました。

他の子は普通に学校に行けるのに、授業を受けられるのに、うちの子はどうしてそれができないの?と悩む日々。お友達だっているし、いじめられているわけでもない、勉強もそこそこできている。担任もいい先生。原因が全くわかりませんでした。

徐々に私の仕事にも影響が出始め、精神的に辛い日が続きました。

スクールカウンセラーに相談しても具体的な対応策は得られず、どうにかしてこの状態から抜け出したいと思い、インターネットで検索し、たどり着いたのがペアレンツキャンプでした。

水野先生の著書、ブログ、HPを見てここならお任せできると思い、相談フォームに書き込みました。

娘は「神経質傾向」「親への依存心が強い」「自立心が年相応にない」という傾向が見られるということでした。

今思えば、過干渉、過保護がどれだけ多かったか。

可哀想なことにならないように良かれと思ってやってきたことが、娘の経験を奪い、年相応の自立ができていない状況を生み、教室にいられない状況を作ってしまったのです。

母子登校、保健室登校だけでなく、もって先の将来を考えた時に親が根本的に変わらなければいけないと強く思い、家庭教育支援コースを受講することにしました。

最初の頃の家庭シートは赤字だらけでした。過干渉、これは言わない、メシテイ(命令・指示・提案)、親の問題、子の問題を分けて考える等、PCMから外れた言動にたくさんチェックをしていただきました。

赤字がたくさん入ったノートをかかめて、溜め息が出ました。しかし、これが自分の癖なのか、気を付けようと素直に受け取り、子供との会話時に徐々に気を付けるようになりました。

電話カウンセリングでは山下先生はいつもその時の状況に応じた的確なアドバイスをしてくださり、また所ましていただきました。

いつも電話の後は涙がほろりと出て、スッキリし、やる気をチャージできたものです。

支援を受け始めてから5か月、2学期の終わりには教室で過ごすようになりました。3学期は行き渋りはたまにあるものの、丸1日教室で過ごすようになり、保健室には全く行かなくなりました。

学年が上がって2年生。この頃になるとかなり行き渋りは減りました。行き渋ってしま、た時の対応を私がしっかりできていれば後を引かまいことがわかりました。この1年間はこのトレーニングをしてきたと言っても過言ではありません。時々、学校でお友達とのトラブルがあってもそれを原因に休むようなことはありませんでした。強くなったものです。

そして一切やめていた習い事を2年生の1月から本人の希望で姉と一緒に行き始めました。自分からやりたいと言ってくれたことが何よりうれしかったです。3年生になった現在も毎週楽しく通っています。姉が行きたくないと言った時も、バスに一人で乗って通う位に夢中になっています。今日からまた一つ、新たに習い事を始めました。やる気満々です。

親が変われば子も変わる まさにその通りでした。

主人の協力が得られない状態での受講だったので、2年という時間がかかってしまいましたが、時間をかけた分、私自身が変われたのではないかと思います。また、娘が小1の時にこのような状況になったこと、最初は辛くてたまりませんでした。今思うと良かったです。早い段階で家庭教育を教わったことで今後に生かすことができます。

ペアレンツキャンプに出会い、支援を受けられたこと、奥にある2年間をいただいたことに感謝しています。

秋の深まりとともに寒さも増してまいります。先生方くねぐねもお体に留意なさってくださいね。親の会でお会いできるのを楽しみにしております。 2017.10.20